

# 公益財団法人福岡アジア都市研究所

## 情報戦略室

多くの自治体では、厳しい財政事情の中で、効率的で効果的な財政運営のために、政策の選択と集中を図っています。地域の発展、成長のために本当に必要な政策は何か。自治体にもマーケティングの発想が求められています。

データ収集・分析・提言に留まらず、戦略的な視点に立ち、政策立案者と対話を重ねる参謀機能として、URC内に「情報戦略室」が設置されました。

「情報戦略室」は、情報の収集・分析と、戦略の構築支援によって、福岡市の発展と経済成長の実現に貢献していくことをミッションとしています。

# “Fukuoka Growth”の発行に寄せて

## 不確実な時代の到来

- 未来が予測できない、ますます不確実な時代に私達は生きています。四つの要因によって世界はここ数十年の間に大きく変化し、また現在も変化し続けています。それらの要因とは：（１）インターネット（それ自体が黎明期から大きく進化した）、（２）世界の総人口の爆発的な増加（成熟国の人口減少を上回る）、（３）モノと人の流動性の飛躍、（４）エネルギー革命（化石燃料から環境共生型へ）です。
- 政策研究大学院大学の黒川清教授を始めとする知のリーダー達は、このような不確実な時代を生き延び繁栄するための「九つの原則」を次のように\*提唱しています：（１）強さではなく弾性、（２）安全ではなくリスク、（３）モノではなく仕組み、（４）地図ではなく羅針盤、（５）押しではなく引き、（６）理論ではなく実践、（７）遵守ではなく打破、（８）専門家ではなく群集、（９）教育ではなく学習

## 地域経済圏の勃興

- 世界の経済地図もここ数十年の間に劇的に変化し、また現在も変化し続けています。
- T.L. フリードマンが1999年に『フラット化する世界』を提唱した一方で、R. フロリダは「世界はフラットではなく、むしろスパイキー、すなわちデコボコである」と主張しています。いずれの言説も正しいと思われます。
- これら複線の議論が示唆することは、大前研一が『国民国家の終わりー地域経済圏の勃興』\*で述べたように、今日の世界経済は都市地域のネットワークによって成り立っていることです。
- 世界的な才能や知的な働き手たちは都市地域に（とりわけ都心に）集まり、「イノベーションの生態系」の一部となり、その地域の持続的な成長を後押ししています。A. サクセニアンが指摘したように、地域はビジネスにとって競争優位の源泉の一つになっています。

## 世界地図上の福岡？

- 現在、そして未来において、世界地図上の福岡の位置はどのようなもののでしょうか？
- 創刊した『Fukuoka Growth』は、政策立案者やビジネスリーダー、そして市民に対し、政策や経済に関する対話の基礎として、福岡の経済の展望を示そうとするものです。
- とりわけ、福岡の強みと機会を掘り下げて分析し、世界の他地域に評価される「福岡ならではの価値」を踏まえて、世界地図上の福岡の位置を明確に定める一助になることを目指します。
- 読者の皆様のご意見やご評価をお待ち申し上げます。

2013年6月20日  
公益財団法人福岡アジア都市研究所  
情報戦略室長  
後藤太一

\*は筆者撰訳

## データでみる福岡市の成長ポテンシャル

データは、あらゆる計画の基礎となるものです。

仮説や予測も、データに基づく論理的な根拠がなければ成り立ちません。

データはあらゆる分野と関わり、データを集めること、分析することが重要となっています。

自然科学は、実験データを蓄積しながら新たな発見や進化を導き、ビジネスや政策の場面では、さまざまなデータをもとに次の戦略が練られます。

データは、ある時点の、ある視点における「事実」を示すものです。

福岡市の未来を考えるためにも、さまざまな視点でデータを分析し、事実と背景から見えてくるものを確認し、より確かな成長の道筋を整えていくことが重要です。

福岡市の成長の可能性を示すさまざまなデータがあります。

シリーズ「Fukuoka Growth」は、月2回程度の発行を予定しています。

毎回テーマに沿った視点でデータをみながら、福岡の今を診断し、福岡市とそこに暮らす人の未来を考えていきたいと思えます。

また、福岡に住むこと、学ぶこと、働くこと、投資すること、ビジネスを始めること、多くの人と交わることなど、

みなさんが、福岡との関わりの中で、成功や成長を考える一助になれば幸いです。



# Fukuoka Growth

写真提供：福岡市

## 01 日本で一番人が集まる都市へ

Version 1.3

今 福岡市には 多くの人たちが集まっています  
福岡市は 日本で一番人口が増えている市です  
人が集まるところに 投資は集まり イノベーションが起こります  
そしてまた さらに多くの人を呼び込みます

人口は成長の源泉です  
一人ひとりが 福岡市が成長するための 大きな力となります

### データでみる福岡市の成長ポテンシャル

公益財団法人福岡アジア都市研究所

情報戦略室

後藤太一 畠山尚久 山田美里

# 1,500,899人

## 政令指定都市人口上位（推計）



「福岡市の人口が150万人を超えた」と、ニュース等でも報じられました。100万人突破が1975年。それから38年という短期間での150万人突破。福岡市は、今「日本で最も人口が増えている市」なのです。

京都市を抜いて、政令指定都市中6番目の人口となった福岡市より人口が多い市は、横浜市、大阪市、名古屋市、神戸市のいわゆる三大都市圏（東京・大阪・名古屋圏域）の都市、そして札幌市だけです。

# 全国的にみても際立つ短期間での「急増」

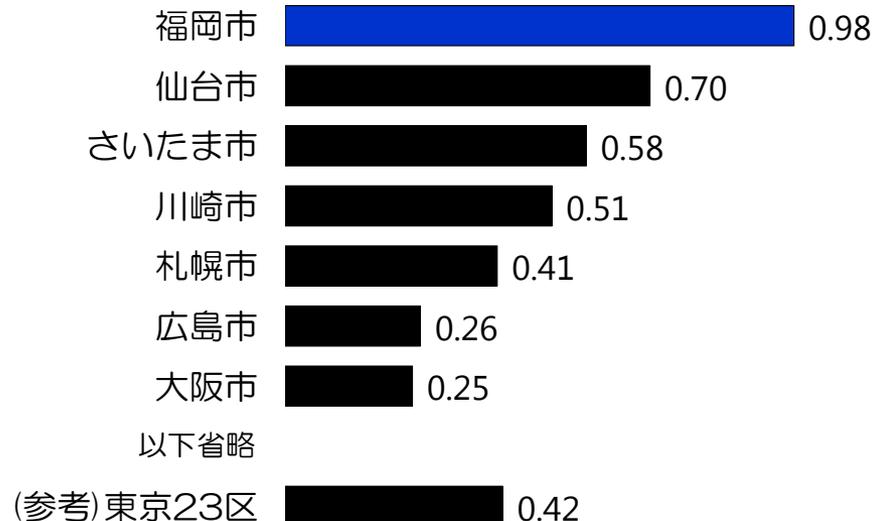
## 人口「増加数」上位都市(推計)

(人)



## 人口「増減率」(年平均)上位都市(推計)

(%)

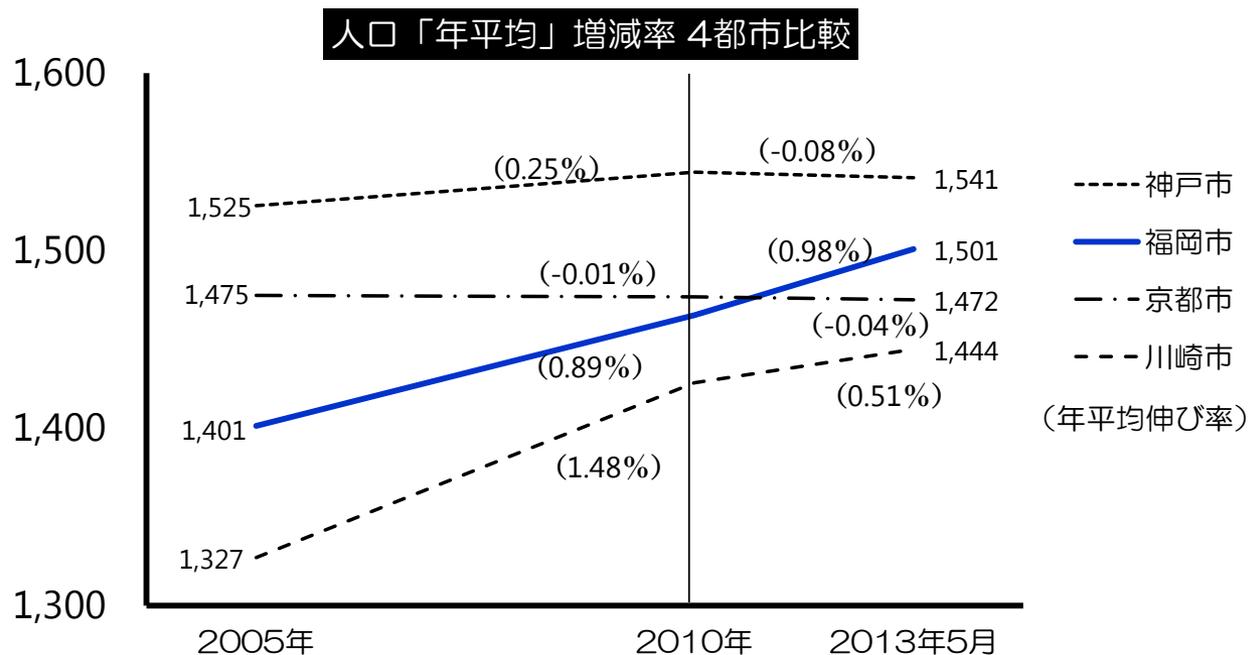


増加数・増加率

### 2010年10月 ▶ 2013年5月

福岡市は、わずか2年7ヶ月の間に4万人近い人口の増加で、政令指定都市としては、2位の札幌市にダブルスコア近い差で1位、増加率も1位と、全国的にみても、多くの人が集まる都市として特筆すべき傾向を示しています。

# 国内では例外的に加速している人口増加



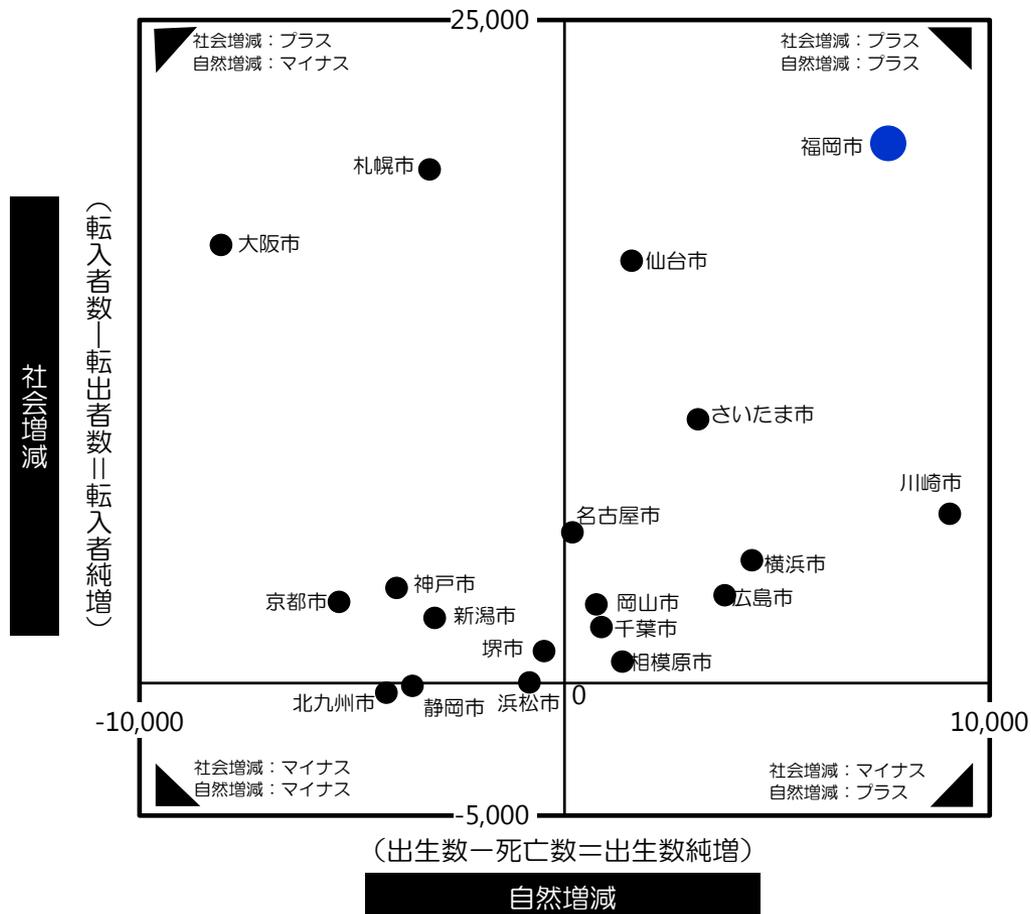
福岡市と同規模＝人口「150万人」前後の都市「川崎市」「京都市」「神戸市」と比較しても、人口減少に転じている市がある中で、福岡市は増加率が上昇しています。人口減少に転じた京都市を上回り、同じく神戸市に迫る一方、高い増加率で福岡市に迫っていた川崎市との差は広がりつつあります。

近い将来、福岡市は頭一つ抜け出す勢いです。

# 多くの人々が「福岡市」に住むことを選んだ

直近2年間における人口純増（純減）数分布図 政令指定都市比較

(2011年と2012年合計)



縦軸が社会増減（転入者－転出者）、横軸が自然増減（出生数－死亡者数）として、それぞれ2011年と2012年の2年間の合計数を分布図にしたもの

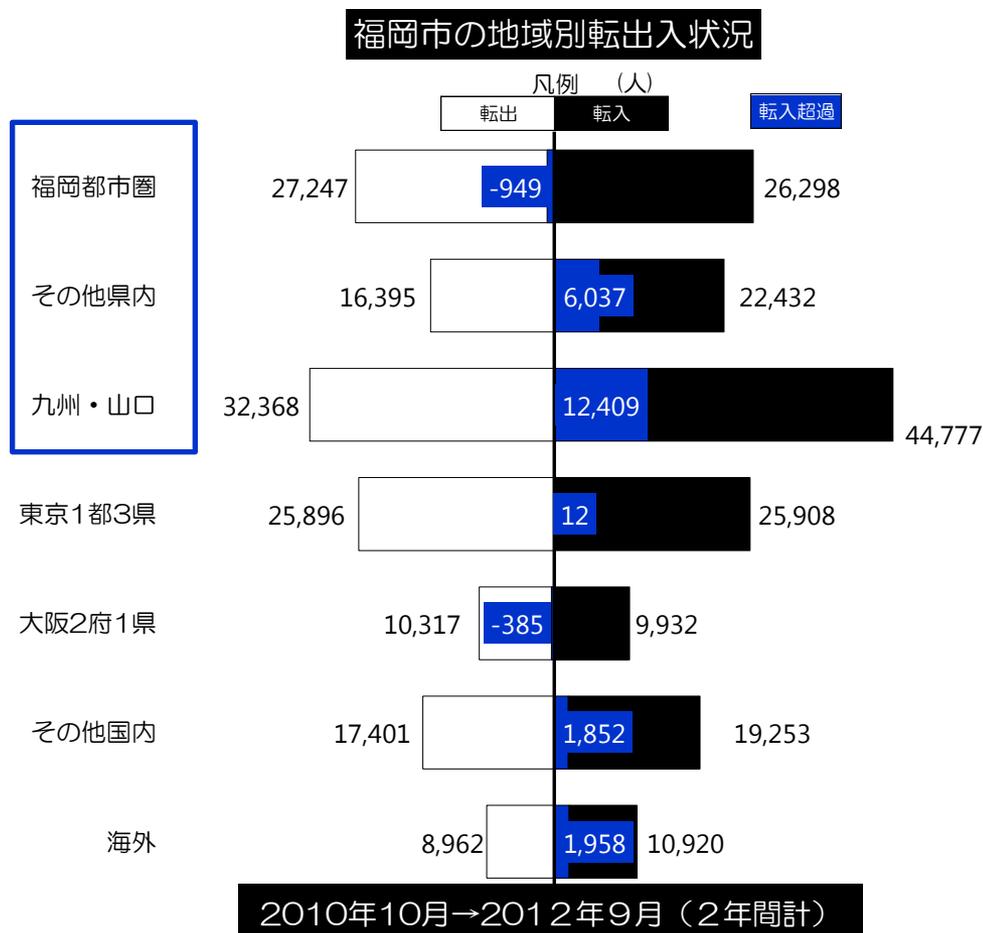
転入者も出生数も、ともに純増数が他都市を大きく上回り、多くの人々が、福岡市の将来に期待し、集まり、結果として突出した人口増加につながりました。

これからも、成長エネルギーの結集で、日本の活力を牽引していく役割を担っていかねばなりません。

資料：転出入人数…住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）

出生・死亡者数…人口動態統計（厚生労働省）人口動態統計の2012年は速報値含む

# 1500万人経済圏からの集中



福岡市の人口増の約6割を占める九州・山口地域(県内含む)は、1500万人近い人口を有しています。これは、北海道の3倍近い規模です。ここからも多くの人々が福岡市に集まり、国内での存在感はますます高まっていくと予想されます。

資料：福岡県人口移動調査

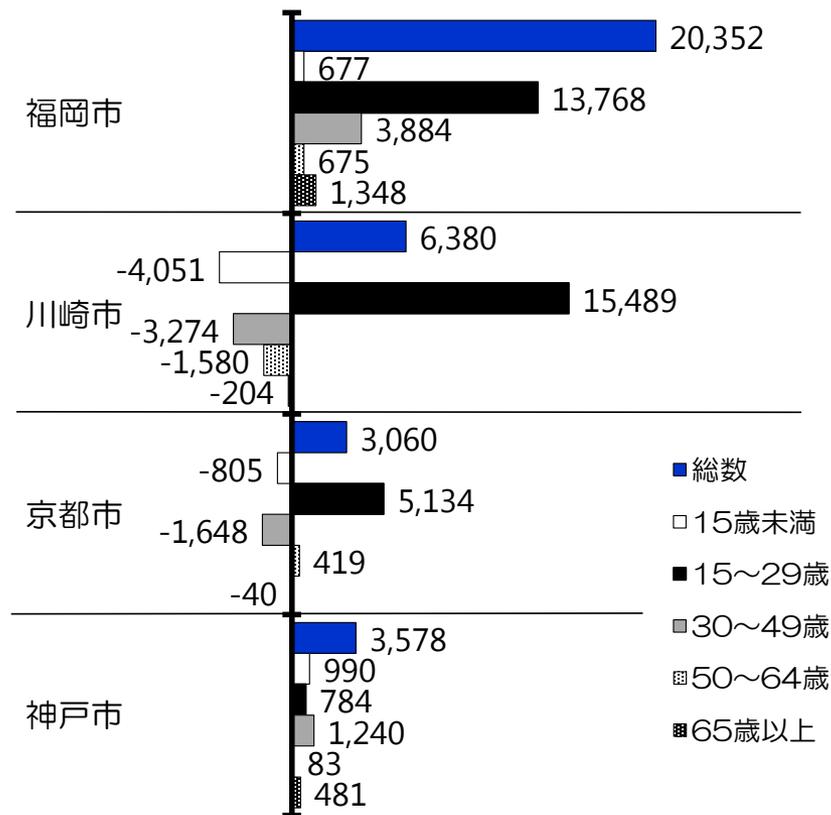
福岡都市圏：筑紫野市,春日市,大野城市,宗像市,太宰府市,古賀市,福津市,糸島市、筑紫郡那珂川町,糟屋郡宇美町,篠栗町,志免町,須恵町,新宮町,久山町,粕屋町

東京1都3県：東京都,神奈川県,千葉県,埼玉県

大阪2府1県：大阪府,京都府,兵庫県

# 若い世代と働く世代が福岡市へ

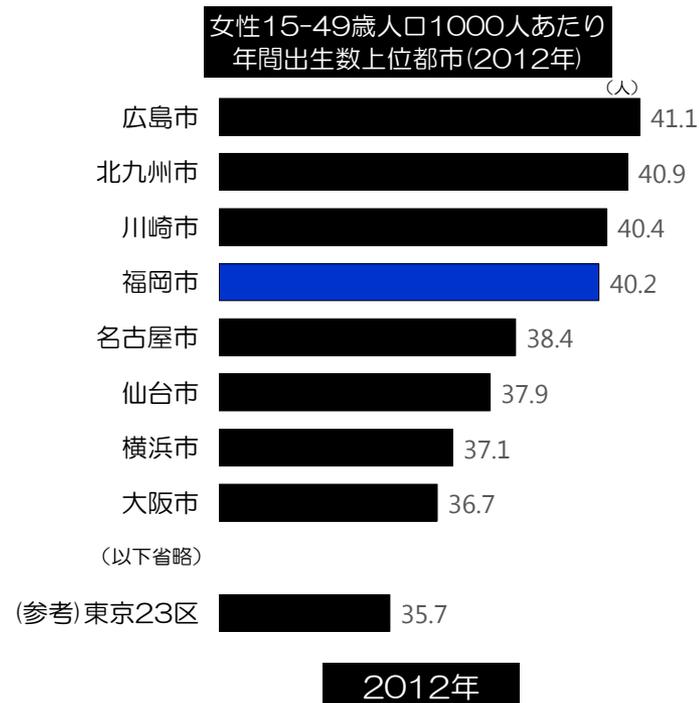
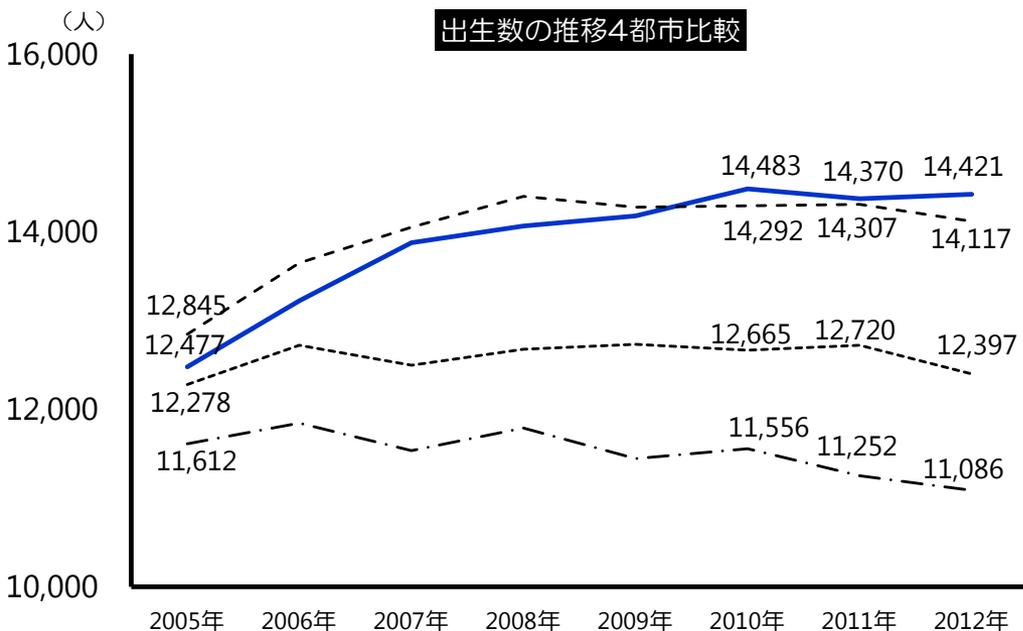
## 年齢区分別転入超過数4都市比較



2011年+2012年（2年間計）

福岡市は若者や働き盛の世代で増加が目立ち、人口が同規模の4都市の中でもその傾向が顕著です。次代を担う新鮮な活力が、福岡市へと集まっています。

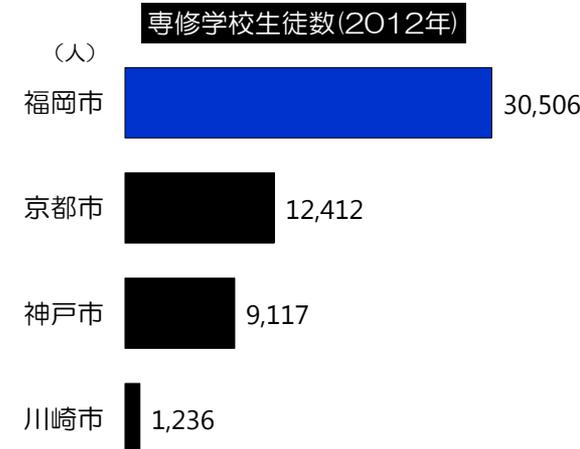
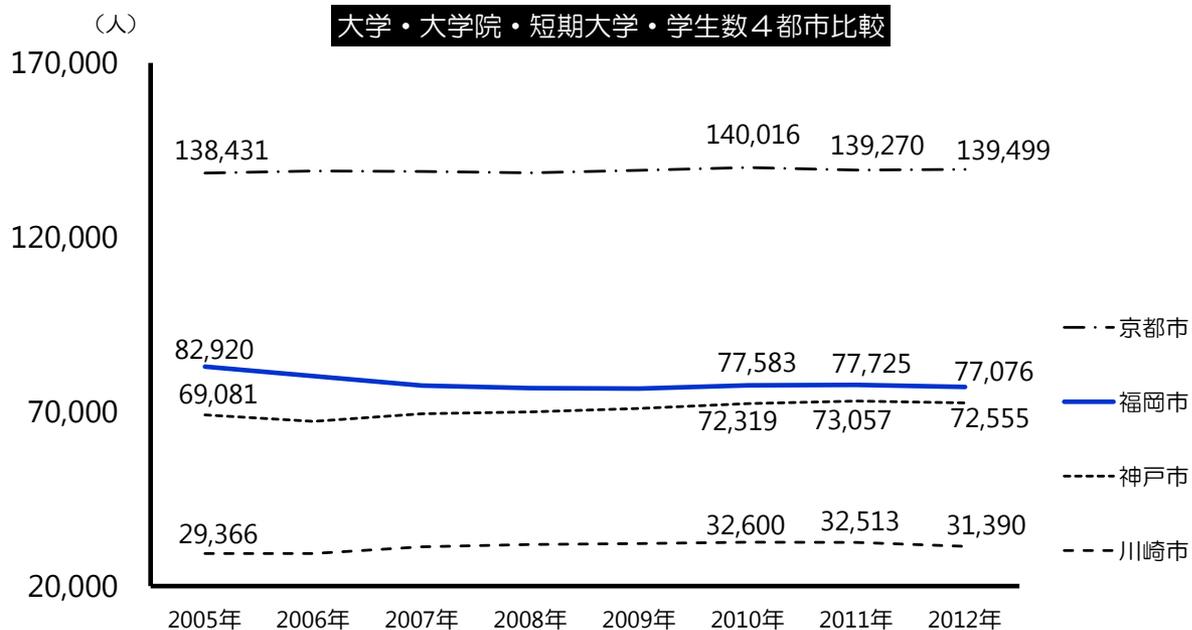
# 出生数は増加傾向



福岡市の出生数は増加傾向にあります。女性対象年齢人口1000人あたり出生数は比較的高い水準にあります。

資料：人口動態調査（厚生労働省）  
 \*各都市住民基本台帳年齢別人口による  
 都市により集計公表月が異なる  
 \*2012年出生数は速報値を含む

# 若者のまち・学生のまちとしての強み

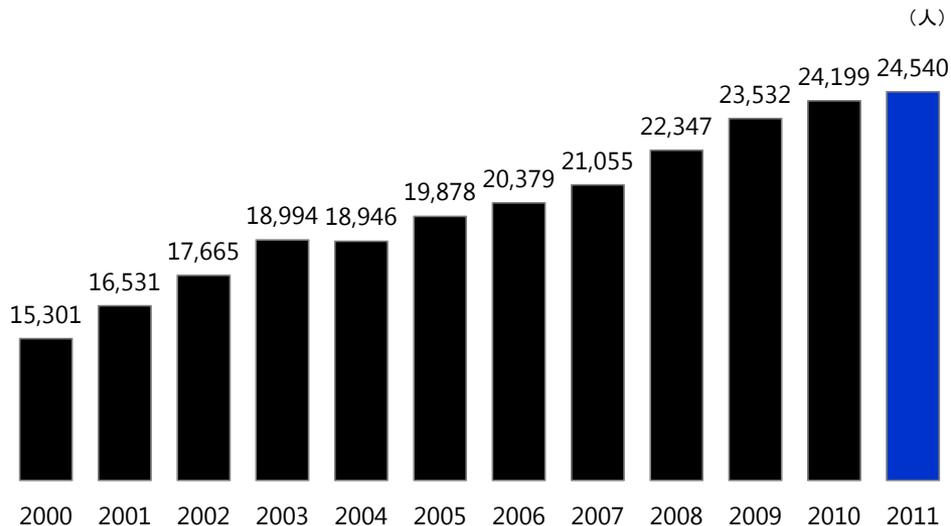


福岡市の大学生の数は近年は横ばいで推移しています。また、福岡市は多くの専修学校生が、さまざまな専門知識や技術を学んでいます。これら高等教育、専門教育を学ぶ学生等が「若者のまち」の一翼を担っています。

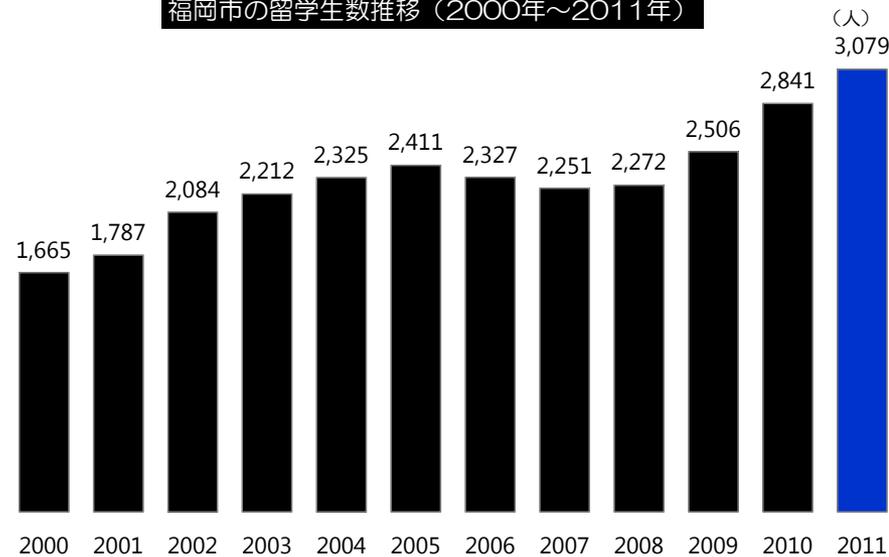
多くの学生が集まることは、人口増加に寄与するばかりでなく、知識や技術を持つ若者を求めて、企業等の進出や投資を促す効果が期待されます。

# 着実に増え続ける海外との人流

## 福岡市の外国人登録数推移（2000年～2011年）



## 福岡市の留学生数推移（2000年～2011年）



ビジネスや教育のボーダレス化が進む中で、外国人が増加することで、世界が福岡市に注目する機会が増えていきます。

福岡市が、アジア地域との玄関口として、今後もますます海外との交流が活発になり、さまざまな付加価値が生まれ、世界へと発信されていくことが期待されます。